

[Program update : 27 June, 2017]

「シビアアクシデント時の燃料・炉心破損に係る、材料科学、熱力学、シビアアクシデント解析とモデリングの専門家ワークショップ」

平成29年7月5日(水) 日本原子力開発機構 廃炉国際共同研究センター主催

開催場所:富岡町文化交流センター「学びの森」 第一・第二会議室

7:50 チャーターバス出発(いわき駅)

9:00 学びの森到着

9:00 受付開始

9:20 開催挨拶

日本原子力研究開発機構 木村貴海

【9:30-10:30】 セッション1 基調講演－知見のアップデートー

1) Progress on evaluation of RPV/PCV-status of FDNPS

(福島第一原子力発電所の圧力容器・格納容器の状態推定の進捗)

東京電力ホールディングス(株) 溝上伸也 博士

2) SAFEST roadmap of EU corium experimental research

(EUのコリウム実験研究に係る SAFEST ロードマップ)

CEA(仏国原子力・代替エネルギー庁) C. Journeau 博士

3) Status of NUCLEA/MEPHISTA databases, potential learnings from database analyses for FDNPS material behavior

(NUCLEA / MEPHISTA データベースの現状、福島第一原発事故における材料ふるまいに関するデータベース解析を用いた研究展開の可能性)

IRSN (フランス放射線防護原子力安全研究所) M. Barrachin 博士

【10:30-10:50】 休憩

【10:50-12:30】 セッション2ー燃料劣化の解析モデルと模擬試験ー

- 1) History, actual state and prospects of R&D activities of the severe accident on RASPLAV platform
(RASPLAV 研究施設におけるシビアアクシデントの研究開発活動の歴史、現状と展望)
NITI (ロシアアレキサンドロフ工学研究所) V. Almiashev 博士

- 2) Fuel assembly degradation test using plasma heating method
(プラズマ加熱法による燃料集合体破損・溶融試験)
日本原子力研究開発機構 佐藤一憲 研究員

- 3) MISTEE project on Fuel-Coolant interaction in KTH
(KTHにおける、燃料-冷却水の相互反応に関する MISTEE プロジェクト)
KTH(スウェーデン王立工科大学) W. Ma 助教授

- 4) R&Ds on fuel and control rods degradation behavior in CRIEPI
(電力中央研究所における燃料棒および制御棒の破損・溶融挙動に関する研究開発)
(一財)電力中央研究所 中村勤也 博士

- 5) Physical and chemical behaviors of partially oxidized corium during severe accident progression
(シビアアクシデント進展中に、部分的に酸化される溶融燃料(コリウム)の物理化学的な挙動)
KAERI (韓国原子力研究所) J-H. Song 博士

13:20 チャーターバス出発(学びの森)

14::35 いわき駅到着